

「高大連携 図書館情報交換会」議事録

平成 20 年 7 月 8 日

日 時 7 月 1 日 (火) 14:00 ~ 17:00
場 所 図書館, 462 教室 (AC ルーム)
参加者 愛川高校 坂本香織 相原高校 松田ユリ子 五領ヶ台高校 上島良子
高浜高校 大木真理子 中央農業高校 石崎弘子 山北高校 越水博美
小田原総合ビジネス高校 宮永敏明
湘北短期大学 岩崎 高橋 和田 林 (敬称略、順不同)
記 録 湘北短期大学 高橋
配布資料 1. 湘北短期大学図書館作成 PR 資料一式
2. 「高大連携図書館情報交換会」開催に伴うアンケート結果

内 容

1. 湘北短期大学図書館 PR 映像の上映, 館内ツアー
2. 高大連携事業のご案内
3. 自己紹介 (手作りの名刺交換)
4. 情報交換
 - ① 各校で課題だと感じている点について
 - ・ 学生がレポートの書き方を知らない
 - ・ 「本を読む時間がない」「ダルイ」という生徒をどうやって図書館に呼ぶか
 - ・ 学校として図書館に対する方針 (ビジョン) が定まっていない
 - ・ 生徒が本を読まず、ケータイ小説どまりで、そこから読書へつながらない
 - ・ 学生指導 (情報リテラシー教育) をうまく進めるにはどうしたらいいか
 - ・ 学校図書館の位置づけを明確にすべき
 - ・ カリキュラム・授業との連携が難しい
 - ・ 図書館のイメージが古いまま, 学校教育における図書館の役割を考えるべき
 - ・ レポート・作文の指導を教員がしていない
 - ・ 図書館がなかなか利用されない
 - ⇒ 高大連携プログラムにおいて、解決策を探ることはできないか?
 - ② 高大連携プログラムの提案
 - ・ 学校において図書館の役割が認識されていない
 - 管理職へアプローチしてはどうか
 - ・ 国語の授業で生徒が読み聞かせをし、他の生徒が採点する取り組み
 - ・ 図書の帯を作る → 自分が選んだ本を紹介する
 - ・ 同じ図書を 50 冊用意し、みんなで読む
 - ・ ライティング/リーディング・ワークショップ
 - ⇒ 高校での学びのカタチ (モデル) を作り、各校に持ち帰ってはどうか?
5. 今後の予定について
 - ・ 後期に向けて、図書館における高大連携プログラムの内容を具体的に検討
 - ・ 8 月中に第 2 回目の情報交換会を開催

以上